

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	計算機工学	
科目基礎情報							
科目番号	0120			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	創造工学科（電気・電子コース）			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	佐藤 淳						
到達目標							
「組み込みシステム」の開発に必要なハードウェアとソフトウェアの技術および知識について学ぶ。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	組み込みシステムの開発手法を実践できる。			組み込みシステムの開発手法を理解できる。		組み込みシステムの開発手法を理解できない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
(D) 専門分野の知識と情報技術を身につける。							
教育方法等							
概要	「組み込みシステム」を対象としてハードウェアおよびソフトウェアの構成を理解し、システムの開発フロー及び手法について学ぶ。						
授業の進め方・方法	LMSにて教材を配布する。あらかじめ予習して授業に臨むこと。 講義ごとにL MSで小テストを実施する。授業には教材参照及びテスト用にPCを準備すること。						
注意点							
事前・事後学習、オフィスアワー							
オフィスアワー：水曜日15時から17時							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	組み込みソフトウェアとは				
		2週	組み込みシステムのハードウェア		組み込みシステムのハードウェアの構成が理解できる。		
		3週	組み込みソフトウェアの構造		組み込みソフトウェアの構造が理解できる。		
		4週	組み込みシステム開発の注意点				
		5週	開発課題と失敗事例の解説				
		6週					
		7週					
		8週	組み込み向け構造化分析の例・設計の概要		構造化分析の概念や手順が理解できる。		
	4thQ	9週					
		10週					
		11週	組み込み向け構造化設計		構造化設計の手法と手順が理解できる。		
		12週					
		13週					
		14週	ソフトウェアテストの概要		ソフトウェアテストの手法と手順が理解できる。		
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
専門的能力	40	0	0	0	0	0	40
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10